



お小だより

令和7年9月26日

令和7年度全国学力・学習状況調査本校の調査結果の概要について

4月に6年生を対象に、今年度は、「国語」「算数」「理科」の学力調査と児童の学習や生活の実態を知るための「児童質問紙調査」を行いました。この調査は、6年生の4月段階での学力傾向だけでなく、本校児童全体の傾向を推し量る上での重要な資料です。今回の調査結果を活用し、児童への学習指導の充実と改善等に役立てていきます

国語

札幌小学校の概要	今回調査の課題	改善の方向
学習指導要領【分類・区分】 □「知識及び技能」 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項の平均正答率 全国平均に比べ、やや上回っている。 (2)情報の使い方に関する事項の平均正答率 全国平均に比べ、下回っている。 (3)我が国の言語文化に関する事項の平均正答率 全国平均に比べ、ほぼ同程度。 □「思考力、判断力、表現力等」 A 話すこと・聞くこと 全国平均に比べ、下回っている。 B 書くこと 全国平均に比べ、下回っている。 C 読むこと 全国平均に比べ、下回っている。	●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができること。 ●自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えられること。 ●書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えられること。 ●目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができること。	○話し合った内容を短くまとめたり、資料の読み取り方を高めたりする指導の充実を図る。 ○意図を明確にして話したり、相手の意図を考えて聞いたりする指導の充実を図る。 ○伝えたいことの中心を明確にし、より効果的に伝わるよう段落相互の関係を意識して書く指導の充実を図る。 ○文章や図表など資料の内容を理解する力を高めるとともに、目的に応じて必要な情報を見つけられるよう指導の充実を図る。

算 数

札幌小学校の概要	今回調査の課題	改善の方向
学習指導要領の【領域】 A「数と計算」の平均正答率 全国平均より下回っている。 B「図形」の平均正答率 全国平均より下回っている。 C「測定」の平均正答率 全国平均より下回っている。 C「変化と関係」の平均正答率 全国平均より下回っている。 D「データの活用」の平均正答率 全国平均より下回っている。	●示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算できること。 ●小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えられること。 ●異分母の分数の加法の計算をすること。 ●平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図できること。 ●角の大きさについて理解していること。 ●伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できること。 ●伴って変わる二つの数量に着目し、必要な数量を見いだすことができること。 ●目的に応じて適切なグラフを選択、判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できること。	○図表や文章などから、数量関係を読み取り、立式・計算できるよう指導の充実を図る。 ○共通する単位で数の大きさを捉える活動と指導の充実を図る。 ○異分母の分数の加法、図形の性質の理解とコンパスなどの用具を用いた作図など、基礎的内容の理解と定着を図る。 ○問題文の読み取りや具体物の操作、図で表現する等の活動を通して、数量関係を把握し、問題を解決するために必要な数量を見いだせるよう指導の充実を図る。 ○知りたい数量の大きさや求め方やその理由などを数や式、言葉を用いて記述できるよう指導の充実を図る。

理 科

札幌小学校の概要	今回調査の課題	改善の方向
学習指導要領の【領域】 <A区分> 「エネルギー」を柱とする領域 全国平均より下回っている。 「粒子」を柱とする領域 全国平均より下回っている。 <B区分> 「生命」を柱とする領域 全国平均より下回っている。 「地球」を柱とする領域 全国平均より下回っている。	●電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻き数によって変わることの知識が身に付いていること。 ●「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現すること。 ●顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いていること。 ●赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現できること。	○電流が作る磁力について、基本的な内容の理解と定着を図る。 ○物質の性質等の基本的内容の理解とともに、自然現象とそれらの関連を考えられるよう指導の充実を図る。 ○実験器具の基本的な使い方の定着を図る。 ○実験等の結果を基に結論を導くとともに、その理由を文章表現できるよう指導の充実を図る。

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

71項目にわたって生活習慣、学習意欲、学習方法、学習環境等についての質問のうち、特に全国と比較して特徴的だと思われる項目を中心にお知らせします。

全国平均と比較して 肯定的な回答が多いもの	全国平均と比較して 肯定的な回答が少ないもの
○読書は好きですか ☆5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて ○自分のペースで理解しながら学習を進めることができる ○5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表しましたか ○国語の勉強は得意ですか ○国語の勉強は好きですか ○国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けていますか。 ○理科の勉強は得意ですか ○理科の勉強は好きですか	△自分には、よいところがあると思いますか △地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか ☆5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて △分からないことがあった時に、すぐに調べることができる △友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

【学習概要・質問紙の結果から】

- 「読書が好き」という回答が多く、引き続き朝読書の取組を進めていきます。
- 「自分にはよいところがあると思いますか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の設問に肯定的な回答が少ない結果となりました。今後も学習、行事やキャリア教育などを通じて一人一人のよさを認め、夢ややりがいを育み、自己肯定感・有用感を高めるよう、努めてまいります。
- 国語・理科の勉強が好き・得意と肯定的な回答が多く、算数の勉強が好き・得意に関しても全国平均と同程度の回答結果となりました。一方、平均正答率は各教科とも全国平均を下回っており、子どもたちの意識と結果との間に開きが見られます。上記の改善の方向でも示した通り、基本的な内容の理解と定着、目標の達成に向けて必要なことを集め、整理して筋道立てて考え、言葉や文章で伝える活動の充実を図ります。学習や活動を通じて、子どもたち一人一人が自己実現していけるよう指導に努めていきます。
- ICT 機器の授業の活用について子どもたちは、「自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」としながらも「分からないことがあった時に、すぐに調べることができる」の肯定的な回答が少ないという結果になりました。調べる内容や目的を明確にすることがICT機器を使用する上で重要になります。引き続き、目的を明確にした上でICT機器を用いて自分の考えをまとめ・発表する場面を設定するなど、学習を深めるツールとして一層授業で活用するよう、努めてまいります。